

2012 January

1

平成24年

No.787

市報

ぎょうだ



2~5

新春座談会 森とともに、緑とともに
~いのちを守る森づくりを通した行田のまちづくり~

6~7

市民税・県民税・所得税 申告相談

年頭のあいさつ

行田市長
工藤 正司

新年明けましておめでとございませう。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことからお慶び申し上げます。

皆様にとりましてこの一年が、幸多きすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年我が国は、東日本大震災や原発事故など、未曾有の災害に相次いで見舞われました。今ほど「安心・安全」が問われ、復興と再生が求められているときはありません。

埼玉県名産の地、私たちのふるさと行田は、恵まれた自然と輝かしい歴史が息づくまちです。先人の深い英知とたゆまぬ努力の積み重ねによって、幾多の試練を乗り越え、今日まで目覚ましい発展を遂げてまいりました。

私は強く思います。「未来の行田を創るのは未来の誰かではない。今を生きる我々である」と。今こそ先人の不屈の精神に学び、私たちの手で今日のピンチをチャンスに変えていこうではありませんか。

新春座談会



環境問題や健康、防災、教育などさまざまな効果がある「いのちを守る森づくり」。平成20年度から指導をいただいている宮脇昭さん(横浜国立大学名誉教授)と、植物を通して心身の健康に取り組んでいる池田明子さん(ソフィア フィトセラピーカレッジ学校長)をお招きし、工藤市長とお話をいただきました。

行田市では、今後10年先を見据えたまちづくりビジョン「第5次総合振興計画」が今年度からスタートし、新たな一歩を大きく踏み出しました。「定住人口」と観光などによる「交流人口」を合わせた「まちづくり人口・10万人のまち」を目指してまいります。

本年は、力強い行動へとつなげていく年です。安心・安全を基本に据えた施策を展開し、市民の皆様の命と財産を徹底的に守りぬいてまいります。さらに、埼玉県の「環境みらい都市」にふさわしい「行田エコタウン」の創出に力を注いでまいります。秋にはいよいよ期待の映画「のぼうの城」が公開されます。これまで培ってきた「おもてなし」にさらなる磨きをかけ、官民一体となって行田の魅力を全国に発信し、みなぎる活力と賑わいを創出してまいります。

私は、行田市のさらなる発展と8万7千市民の幸せのため、「行田ならではのオンラインワンのまちづくり」に全身全霊を注ぎ、まい進していく覚悟であります。誰もが誇りをもてる未来のふるさと行田を、共に築いていきましょう！本年も市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

市長 本日は、お忙しい中、行田にお越しいただきありがとうございます。独自の植樹法のもと、日本のみならず世界的に活躍されており、また、平成20年度から行田の森づくりのご指導をいただいている宮脇さんと、私が森づくりの勉強をしている時に知り合った池田さんの3人で、森や緑の大切さについて、そして行田のまちづくりについて大いに語り合いたいと思います。

宮脇 私は学生時代から植物生態学に興味を持ち、その中で、森が、人や環境に与えるさまざまな効果について研究してきました。以来、本物の森を日本に、世界によ

みがえらせるために、「いのちを守る森づくり」植樹活動をしています。これまで国内外1千700力以上で植樹の指導を行い、4千本以上の木を植えてきました。現在83歳になりましたが、後30年は行田に、日本に、そして世界に木を植えて緑の大切さを伝えていきたいです。

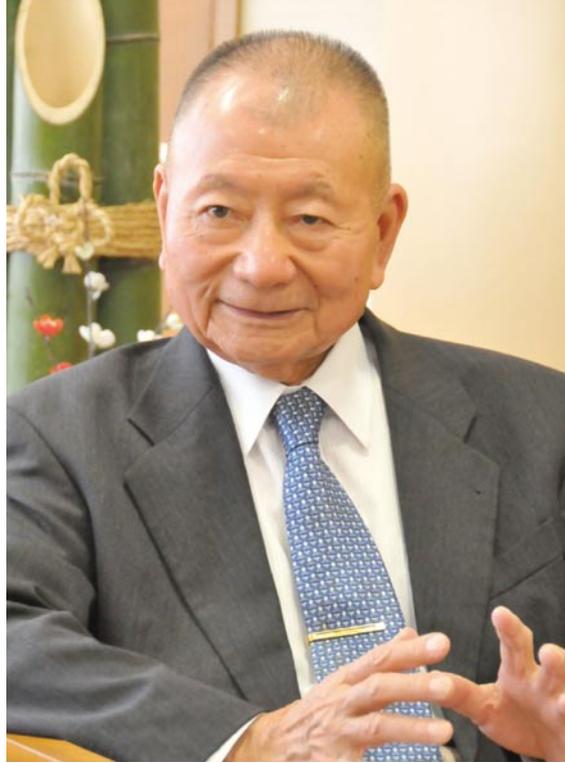
池田 心身の健康を保つためには、野菜や薬草などの植物を取り入れることが大切であるとの考えから、植物療法(フィトセラピー)の学校長をしています。緑豊かな環境でリフレッシュすることは大事なことだと考え、宮脇先生の植樹活動に共感し、参加しています。



Profile

宮脇 昭さん

昭和3年、岡山県生まれ。広島文理科大学（現広島大学）卒業。ドイツ国立植生図研究所研究員、横浜国立大学講師、助教授、教授を経て平成5年、同大学の名誉教授に就任。学生時代から雑草生態学の研究を進め、「宮脇方式」と呼ばれる独自の植樹法を生み出し、日本のみならず、世界各国に本物の森づくりのノウハウを提供している。その功績をたたえられ紫綬褒章、勲二等瑞宝章などを受章している。



森とともに、緑とともに

～いのちを守る森づくりを通じた 行田のまちづくり～

環境にやさしいまちを目指して

市長 地球温暖化が世界で叫ばれていますが、「いのちを守る森づくり」は誰にでもできる地球温暖化対策ではないでしょうか。森づくりの大切さを行田から全国に発信し、環境にやさしい快適なまちをつくりていきたいと思っています。

宮脇 人間は森や緑がなければ生きていくことができません。森や緑をつくることは、自分の命を、あなたの愛する人を守ることです。環境問題や災害対策にも大変有効ですので、これらすべてを含めて「いのちを守る森づくり」を構想しました。本物の森をつくり、快適で住みよいまちづくりを実行してもらいたいですね。

池田 フィトセラピーは、ハーブや薬草を使って体内を健全にすることを目的としています。生活環境も重要であると考えています。体の内側をきれいにして、生活環境が乱れていては、自然治癒

力や免疫力が落ちてしまいます。ぜひ、環境にやさしいまちを目指してほしいです。

市長 お二人のおっしゃるとおりです。「いのちを守る森づくり」をはじめ、市民を中心に自然環境を守る活動が盛んに行われています。また、エネルギー問題も重要な課題の一つです。住宅用太陽光発電システム設置補助の拡大や約6千基ある防犯灯すべてのLED化など、行田エコタウンの創出に力を注いでいます。

さらには、輸送に伴う二酸化炭素の発生抑制などの効果がある地産地消を推進しています。このような環境にやさしいまちづくりを市民の皆さんと一緒に、真正面から取り組んでいきます。

池田 地産地消は必要なことだと思います。例えば野菜は、食べられれば何でもいいのではなく、昔から、その土地で採れた野菜が一番って言いますよね。地産地消の面からエコタウンに取り組みむのも面白いですね。



Profile

池田 明子さん

昭和32年、神奈川県生まれ。臨床検査技師として病院に勤務する中で、代替医療に興味を持ち、その中でもハーブやアロマセラピーを用いたフィトセラピー（植物療法）に惹かれるようになる。現代社会における真の癒しへの需要増大を踏まえ、初心者からプロ志願者までが学べるフィトセラピーの学校「ソフィアフィトセラピーカレッジ」を平成18年に設立し、学校長を務める。夫は俳優の梅沢富美男さん。



昨年の「いのちを守る森づくり」
第4回親子植樹祭に約350人が参加

森が私たちを守ってくれる

市長 森が防災の役割を果たすとお聞きしました。

宮脇 東日本大震災では、津波により何万本という松林が根こそぎ流されてしまいました。行田で植樹しているタブノキなどの常緑広葉樹は残っています。これからは、その土地に合った深根性・直根性のある常緑広葉樹などを植樹し、命と財産を守る「防災林」をつくる必要があると思います。がれきと土を混ぜ、資源として有効活用し、被災地に防災林をつくることを国にも提案しているんですよ。森は津波の威力を軽減させる「天然の防波堤」になるんです。

池田 災害を考えた森づくりが必要だと思えます。家やビルの周りに木を植えて地盤を補つことも考えられますね。

宮脇 そのですね。昨年、行田で行った親子植樹祭には、液状化による被害が甚大だった千葉県の浦安市市長が視察に訪れました。その浦安市でも10年程前に植樹した場所は液状化しなかったんです。このように森は防災の面でさまざまな効果が期待できますが、森づくりは、皆さんの協力がなければできません。ぜひ、行田市も防災林づくりに協力してもらいたいですね。

市長 「いのちを守る森づくり」が被災地の復興に役立つものであれば、協力していきたいと思っています。お二人のご意見を参考に、これからも災害に強い安心で安全なまちづくりを進めていきます。

森や緑に癒されるまち

市長 行田にもっと訪れてもらいたい、行田に住んでもらいたいという強い思いから、「ようこそ行田！プロジェクト」を始動しました。人が集う魅力あるまちづくりに森や緑を生かせればと思います。

池田 森や緑は、ストレス解消など癒しの効果がありますので、フィットセラピーでも取り入れています。行田が「心身ともに癒されるまち」になれば素晴らしいですね。例えば、屋敷林のある家など、緑に囲まれた家が特色のまちとしてPR



現在は植樹祭現場が
市民の憩いの場になっています

してもいいですね。

市長 行田の観光大使で女流棋士の矢内理絵子さんは、将棋という勝負の世界に身を投じていますので、癒しを求めるそうです。そのようなときは、さきたま古墳公園を散歩し、緑溢れる景色を見ながら、リラックスしているとお聞きしまし



た。「心身ともに癒されるまち」は、今後のまちづくりに大変参考になります。

宮脇 人工的な環境の中で働き、学び、とはやむを得ませんが、普段の生活は、森や緑に囲まれた場所です。送ってもらいたい。「行田に住みたい、行田で子どもを育てたい、あるいは晩年は行田で生活したい」と思えるような、いのちの森に支えられた健康都市を目指してもらいたいですね。

市長 まさにおっしゃるとおりです。都心や県外に働きに行っても、森や緑に溢れ、「心身ともに癒されるまち行田」に住んでもらえるよう、取り組んでいきます。

笑顔溢れる子供たちのために

市長 子供たちのために豊かな自然を未来に残さなければなりません。親子植樹祭は、子供たちが植物に直接触れることができ、自然環境をより身近に感じるこ



とができる取り組みと考えています。
池田 子供たちの感受性も豊かになりま
 すね。植物は酸素を作り出し、その中
 も、野菜やお米、果物などは私たちの食
 べ物となり、人間の命を守ります。また、
 心も癒してくれます。子どもに限らず大
 人にも、この当たり前のことに意識を向け
 てもらうことは重要なことだと思います。

を触れ、木を植え、命の尊さを体に、そ
 して人間の本能に刷り込ませることが重
 要で、これが命の教育につながるものと
 思います。お父さんやお母さんも一緒に
 体験できますので、あらゆる世代の方が
 人間は森や緑と一緒に生きていることを
 改めて感じると思います。
市長 豊かな人間性を持った子供たちを
 育成し、「本当に行田に住んでよかつ
 た」と思ってもらえるよう、緑溢れるま
 ちづくりを推進していきます。今後も、
 植樹活動を実施していく予定ですが、市

民の皆さん全員を対象に
 「オール行田」で植樹祭
 を開催できればと考えて
 います。

市民への メッセージ

市長 新年を迎えた市民
 の皆さんにお二人からメ
 ッセージをお願いいたし
 ます。

宮脇 森や緑を育てるこ
 とは、あなたの、あなた
 の大切な人の、家族の命
 を守ることであり、そし
 て生きがいにもなります。
 昔は、木々が生い茂り、
 野鳥の鳴き声が心地よく
 響く「鎮守の森」が各地に
 ありました。鎮守の森を
 復活させることは難しい
 と思いますので、自分の
 環境に合った森をつくり出してください。

池田 行田市は緑豊かで、野菜や果物、
 そして私が行っているフィットセフピーで
 使う薬草やハーブが身近にある環境にあ
 ります。1日10分でも15分でもいいです
 から、植物や緑に意識を向けて、リフレ
 ッシュしていただきたいですね。

市長 本日は、新春にふさわしい大変有
 意義なお話をお聞かせいただきました。



将来を担う子供たちのため、行田の輝か
 しい未来のため、これからも「行田なら
 ではのオンリーワンのまちづくり」を進
 めていきます。「行田に住んでよかつ
 た」「行田に住んでみたい」と思ってい
 ただけるよう、全力で取り組んでいきま
 す。本日は、貴重な時間をいただきまし
 て、誠にありがとうございました。

税

市民税・県民税
所得税

申告相談

2月9日(木)から
3月15日(木)まで

市民税・県民税の申告は、前年1年間の所得に
対する税額を適正に算出するための課税資料とし
て、申告書の提出をしていただくものです。また、
所得税の確定申告も併せて受け付けますので、日
程および会場を確認のうえ、ご利用ください。



市民税・県民税の申告

問い合わせ 税務課市民税担当 (内線231・232)

平成24年度市民税・県民税申告相談開催日程

(受付時間：午前9時30分～午後4時)

期日	会場	地区
2月9日(木)	太井公民館	西新町、沓里山町、清水町、門井町1丁目、深水町、押上町
10日(金)		門井町2・3丁目、棚田町1・2・3丁目
14日(火)	長野公民館	桜町1・2・3丁目、富士見町1・2丁目
15日(水)		大字長野、長野1・2・3・4・5丁目
16日(木)	持田公民館	持田1・2・3・4・5丁目
17日(金)		大字持田、前谷、駒形1・2丁目
21日(火)		大字佐間、佐間1・2・3丁目
22日(水)	中央公民館	旭町、向町、緑町、下忍、堤根、樋上
23日(木)	第1学習室	埼玉
24日(金)	(「みらい」内)	野、渡柳、利田
26日(日)		全地区
27日(月)	太田公民館	藤原町1・2・3丁目、若小玉、藤間
28日(火)		下須戸、小針、関根、真名坂
29日(水)		谷郷1・2・3丁目
3月1日(木)	「グリーンアリーナ」	大字谷郷、栄町、斎条、和田
2日(金)	2階研修室	上池守、下池守、皿尾、中里、小敷田
5日(月)		荒木、小見、白川戸
6日(火)		須加、下中条
7日(水)	総合福祉会館	北河原、酒巻
8日(木)	「やすらぎの里」	犬塚、馬見塚、中江袋
9日(金)	第3研修室	南河原
12日(月)		大字忍、忍1・2丁目、本丸、矢場1・2丁目、行田、宮本、中央
13日(火)	商工センター	城西1・2・3・4・5丁目、天満、城南
14日(水)		全地区
15日(木)		

※対象地区はあくまで参考です。いずれの会場でも対象地区以外の方の申告相談も受け付けています。各会場日程で都合のつかない方は、ほかの会場へお越しください。

※今年度から埼玉荒木・南河原公民館の各会場は、それぞれ中央公民館(みらい)・グリーンアリーナ・総合福祉会館(やすらぎの里)に変更になりましたので、お間違えのないようご注意ください。

※税務課窓口での申告相談は受け付けていません。



所得税および消費税の確定申告

問い合わせ 行田税務署 ☎556-2121

所得税の確定申告とは

所得税の確定申告は、1月1日から12月31日までの1年間に生じたすべての所得とその所得に対する所得税の額を計算し、申告期限までに確定申告書を提出して、源泉徴収された税金などの過不足額を精算する手続きをいいます。

消費税の確定申告とは

前々年の課税売上高が1千万円を超える個人事業者の方は、消費税の納税義務者(課税事業者)となり、翌年の3月末日(平成23年分は平成24年4月2日(月))までに確定申告書を提出することとなります(平成23年分消費税の確定申告については、平成21年の課税売上高で判断します)。

平成23年分の所得税および消費税確定申告

行田税務署では、平成23年分の所得税の確定申告の相談および申告書の受け付けを、3月15日(木)まで、消費税については4月2日(月)まで行います。

なお、「青色申告決算書の作成」「収支内訳書の作成」「医療費控除の領収書の集計」などは、事前に済ませてお越しください。

また、期限間近になると大変混雑しますので、早めの申告をお願いします。

※行田税務署は駐車場が狭いので、車での来署はご遠慮願います。

納税は口座振替・還付金は口座振込で

納税は、安全・便利・確実な振替納税の利用をお勧めします。ま

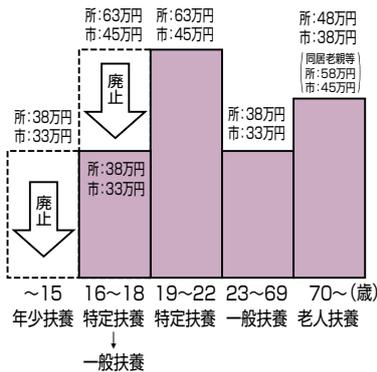
主な改正点

1 扶養控除の見直し

- ・年少扶養親族(年齢16歳未満の扶養親族)に対する扶養控除が廃止されました。
- ・特定扶養親族のうち、年齢16歳以上19歳未満の方の扶養控除の上乗せ部分が廃止されました。

扶養控除の見直しのイメージ図

所=所得税控除額
市=市・県民税控除額



2 寄附金税制の拡充

- ・寄附金税額控除の対象となる寄附金の下限額が、5,000円から2,000円に引き下げられました。

1月1日現在、本市にお住まいの方で、所得があった方は、原則申告が必要です。ただし、次の方は申告不要です。

- ① 所得税の確定申告をする方
- ② 給与所得者で勤務先から市に給与支払報告書が提出され、その給与所得以外に所得のない方
- ③ 合計所得金額が28万円以下の方

※所得のない方や③に該当する方でも、税務関係証明書が必要となる場合や国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の軽減を受ける場合には、申告をしていただく必要があります。

◎ 次のような所得税の確定申告の内容によっては、市の申告相談では受け付けできない場合もありますので、行田税務署で確定申告をしてください。

- ① 株式などの譲渡に関する申告
- ② 繰越損失の申告
- ③ 青色申告
- ④ 先物取引に関する申告

市民税・県民税の申告が必要な方

申告相談にお持ちいただくもの

- ⑤ 過年度分の申告
- ⑥ 平成23年中に死亡された方の申告など

- ① 印鑑
- ② 平成23年1月から12月までの収支計算の分かる書類
- ③ 会社などに勤めている方は、源泉徴収票(原本)
- ④ 社会保険料、生命保険料、個人年金保険料、地震保険料、国民年金保険料、国民健康保険料、介護保険料などの払込証明書

その他

○ 医療費控除の申告をされる方や事業・農業所得などを申告される方は、金額や収支の内訳などの集計を事前に済ませてお越しください。

○ 「市民税・県民税申告書」が必要な方は郵送しますのでご連絡ください(会場にも申告書は用意してあります)。

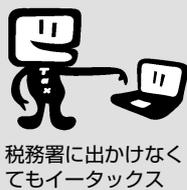
○ 期限間近になると大変混雑しますので、早めの申告をお願いします。

た、還付金の受け取りは、銀行口座への振り込みが便利です。なお、振替納税および還付金の受取口座は、本人名義の口座に限られます。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください

「確定申告書等作成コーナー」の画面案内に従って金額などを入力すれば、税額などが自動計算され、所得税や消費税の申告書、青色申告決算書、収支内訳書などが作成できます。

また、電子申告(e-Tax)の事前準備がお済みの方は、作成した申告書などのデータを自宅から税務署に送信できます。



お知らせはがき(通知書)の送付

平成22年分の所得税・消費税確定申告書を、税務署のパソコンを利用して申告した方、国税庁ホームページを利用して書面出力により申告した方、青色申告会を通じて派遣税理士による代理送信で申告した方については、申告書などが送付されない代わりに「利用者識別番号」や「予定納税額」などを記載した「お知らせはがき(通知書)」を送付します。

なお、「お知らせはがき(通知書)」が送付された方で確定申告相談会場などで申告書を作成・提出される場合は、必ずはがきを持参してください。

年金所得者の確定申告不要制度

公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の各種の所得金額が20万円以下である場合には、確定申告は不要です。

この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

日曜日の相談について

行田税務署では、今年の確定申告期間中は、2月19日・26日の日曜日に限り、熊谷税務署と合同で、確定申告書用紙の配布、申告相談、確定申告書の受け付けおよび納付相談を行います(現金納付の窓口業務は行いません)。

なお、この2日間の申告相談などの会場は、熊谷税務署となります。行田税務署での業務は行っておりませんので、ご注意ください。また、当日は混雑が予想されますので、あらかじめご承知ください。※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

平成23年度 「中学生の税についての作文」受賞作品

次代を担う中学生の皆さんから税についての作文を募集したところ、行田税務署管内で5千300件にのぼる応募がありました。市内からは次の方々が受賞しましたので紹介します。(順不同・敬称略)

国税庁長官賞

守れ、小児医療センター

長野中3年 岩崎 里衣

全国納税貯蓄組合連合会 優秀賞

初めて税を考えた夏休み

西中1年 井古田安曇

埼玉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

震災で知り得たもの

埼玉中3年 町田 絢野

復興を支える税金

見沼中2年 新 友紀乃

行田税務署長賞

税金を考える

西中3年 三友 寛子

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会 長賞 銀賞

国と税金

長野中2年 高橋ひかり

身近な税金「消費税」

行田中3年 五十嵐加織

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会 長賞 銅賞

税の力で復興へ

長野中1年 関田 桃子

私たちの税金

南河原中3年 野中 麻由

私達に身近な税金の仕組み

西中3年 山田 麗奈

税とは

太田中3年 横川 莉菜

大事な貯金

西中1年 鈴木 朝香

東北地方の復興へ

見沼中3年 渡辺 哲史

行田税務連絡協議会長賞 佳作

未来への借金

忍中3年 佐久間 望

税金の大切さ

南河原中2年 永江 美樺

税金とわたしたち

埼玉中3年 小山 裕子

行田税務署管内納税貯蓄組合連合会 長賞 入選

公共物について

忍中3年 棚澤 衿香

税金について

太田中1年 島田 日菜

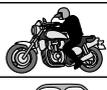
▼問い合わせ

行田税務署 ☎556-2121
(自動音声案内)

軽自動車やバイクなどの廃車・変更の届け出をお忘れなく

軽自動車やバイクなどにかかる税金は、毎年4月1日現在の所有者(登録名義人)に課税されます。次のようなときは、必ず届け出をしてください。

- 売買や譲渡により、所有者が変わった ○市外へ転出した ○車両を入れ替えた
- 所有者が死亡した ○ナンバーがついているが、壊れてもう乗ることはない車両を所有している
- 車両を盗まれてしまい、所有していない

車種	届け出に必要なもの	届け出・問い合わせ
原動機付自転車 (125cc以下のもの) 	名義変更 → 新名義人印鑑 標識交付証明書 譲渡証明書	・ 税務課市民税担当(内線235)
行田市・南河原村 ナンバーの車両	廃車 → ナンバープレート 名義人印鑑 標識交付証明書	
小型特殊自動車 (農耕用トラクター など) 	①検査登録事務所には 廃車 → ナンバープレート 自動車検査証 印鑑など ②市役所には 名義変更 → 自動車検査証返納済証 譲渡証明書 新名義人印鑑 廃車 → 自動車検査証返納済証 名義人印鑑	※検査登録事務所と税務課の 両方へ届け出が必要です ・ 関東運輸局 熊谷自動車検査登録事務所 ☎532-8122 ・ 税務課市民税担当(内線235)
その他の二輪車 (125ccを超えるもの) 	名義変更 廃車 住所変更 → 手続きの種類により必 要書類が異なりますの で届け出先に問い合わ せください	・ 関東運輸局熊谷自動車検査 登録事務所 ☎532-8122
軽自動車 (三・四輪車) 		・ 軽自動車検査協会埼玉事務所 熊谷支所 ☎574-1662

▶問い合わせ 税務課市民税担当(内線235)

要
予約

放射線量測定器の貸し出しを開始します

貸出予約受け付けは1月10日(火)午前8時30分から

市民の皆さんが身近な生活環境などの放射線量を把握できるよう、1月16日(月)から放射線量測定器を貸し出します。事前予約が必要となりますので、ご希望の方は次の要領により申し込みをしてください。

▶対象

- (1)市内に住所を有する方および事業者
- (2)市内に土地または家屋を有する方および事業者
- (3)市内の自治会、その他の団体

▶貸出台数 1回の予約につき1台(無料)

▶貸出機器 環境放射線モニタ「PA1000Radi」
(掘場製作所)

※空間放射線量を測定する機器のため、食品や土壌などの放射線量は測定できません。

▶貸出期間 1月16日(月)から

<個人・事業者> 半日単位での貸し出しとなります。

貸出日(曜日)	貸出時間	返却時間
月～金曜日	午前9時	午後0時30分
	午後1時15分	午後4時45分

※個人・事業者への土・日曜日、祝日の貸し出しは行いません。

<自治会など>

貸出日(曜日)	貸出時間	返却時間
土・日曜日	金曜日の午後4時45分～5時15分	月曜日の午前8時30分～8時45分
祝日	前日の午後4時45分～5時15分	翌日の午前8時30分～8時45分

▶注意 測定器の予約は、申込月の翌月の末日までとします。

【例】1月10日(火)に申し込みをする場合、予約ができる日は1月16日(月)から2月29日(水)までとなります。

▶その他 混雑が予想されますので、希望の貸し出し日時に沿えない場合があります。

貸し出しまでの流れ 予約・貸出場所:防災安全課

貸し出しには次のものがが必要です。

- ①「行田市放射線量測定器貸出申請書」
※防災安全課にて配布または市ホームページよりダウンロードできます。
- ②身分証明書(運転免許証・健康保険証など)

1、予約(先着順)

予約受付時間:午前8時30分～午後5時15分
(土・日曜日、祝日を除く)



電話または窓口で
予約をしてください



2、貸出日当日



- ・「行田市放射線量測定器貸出申請書」に記入・押印のうえ、貸出日当日までに提出
- ・身分証明書の提示

測定器を受け取る

返却期限までに防災安全課へ返却してください。



▶問い合わせ 同課防災担当(内線282・283)

第12回「わが家の耐震診断相談会」 ～あなたの家は大丈夫ですか～

皆さんが今お住まいの住宅(主に木造2階建ての建物)について、簡易な耐震診断を無料で行います。当日は、自宅の間取りが分かる図面を持参していただくと、より詳細な結果が得られます。

住宅の建築や防火に関する相談会も併せて行いますので、ぜひご来場ください。

- ▶日時 2月5日(日)午前9時～正午
- ▶場所 羽生市役所「玄関ホール」(羽生市東6-15)
- ▶主催 (社)埼玉県建築士事務所協会北埼玉支部
- ▶後援 埼玉県、行田市、羽生市、加須市ほか
- ▶費用 無料
- ▶問い合わせ 同協会北埼玉支部 ☎554-3281

放射線量の測定を行っています

市内における放射線量の状況を把握、監視するために放射線量の測定を定期的に行っています。測定値については、「市報ぎょうだ」や市ホームページ、地域公民館にて公表しています(土・日曜日、祝日を除く)。

放射線測定値(参考値)

- ・測定個所 行田消防署本署地内
- ・測定高 1メートル

測定日	測定時間	天候	測定値 (マイクロシーベルト)
12月19日 (月)	午前9時	晴れ	0.10
	午後3時	晴れ	0.07

▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)

厚生労働大臣表彰を受賞されました

厚生労働統計功労者として、次の方が加須保健所長から厚生労働大臣表彰の伝達を受けました。

厚生労働大臣表彰



栗田 りえ子氏 (佐間)

▶問い合わせ 企画政策課
統計担当 (内線310)



新島 英雄氏 (桜町)

▼問い合わせ (内線310)
企画政策課統計担当

埼玉県知事表彰 (統計功労者表彰式)
海老島 明美氏 (堤根)
同 瀬尾 マサ子氏 (斎条)
埼玉県統計協会感謝状
コスモプリント株式会社

総務大臣表彰



大山 弘氏 (長野)

総務大臣表彰

11月22日、埼玉会館 (さいたま市) で平成23年度埼玉県統計功労者表彰式が行われ、長年にわたり統計業務に尽力された功績により、次の方々表彰されました。(順不同)

総務大臣表彰



吉羽 貞夫氏 (矢場)

埼玉県統計功労者表彰式が行われました

市有財産を一般競争入札で売り払います

市が保有する市有財産を一般競争入札により売り払います。

一般競争入札とは、購入希望者が入札に参加し、市があらかじめ定めた最低入札価格以上で、最も高い価格をつけた方を購入者に決定する方法です。

▶売払い物件

物件番号	所在地	登記地目	地積(m ²)	最低売却価格(円)
1	長野4丁目10番5	宅地	126.59	4,204,000円
2	長野4丁目19番6	宅地	226.21	7,250,000円
3	棚田町1丁目49番1	宅地	157.99	10,317,000円
4	中央8番4	宅地	102.41	5,083,000円

▶入札申込資格

- ・市町村税を完納している個人または法人
 - ・指定期日までに確実に土地代金の支払いができる個人または法人
- ※市民に限らず、どなたでも参加することができます。

▶申込方法

財政課に用意してある入札案内書を参考に、所定の申込書に必要書類を添付して、1月16日(月)～27日(金)(土・日曜日を除く)午前8時30分～午後5時15分(正午から午後1時までを除く)に申込者本人が同課まで持参してください(代理人による場合は委任状を併せて持参)。※必ず入札案内書を入手し、熟読のうえ入札にご参加ください。

▶入札・開札の日時および場所

入札 2月9日(木)午後2時
場所 市役所2階203会議室
開札 入札締め切り後、直ちに開札

▶問い合わせ 同課管財担当(内線327)

平成23・24年度行田市物品売買等の競争入札参加資格審査申請の追加受付実施

平成23・24年度の競争入札参加資格審査申請の追加受け付けを実施します。

▶日時 2月1日(水)～10日(金)(土・日曜日を除く)午前9時30分～11時30分、午後1時30分～4時

▶提出場所 契約検査課(持参のみ)
※郵送での受け付けはできませんのでご注意ください。

▶受付業務 物品売買等(建設資材を含む)、建築物管理

▶申請に係る手引き・申請書の入手方法
手引き・申請書は、市ホームページからダウンロードできます。※同課窓口での配布は1月16日(月)から

▶有効期間 平成24年6月1日～平成25年5月31日

▶その他 申請される方は、手引きにより申請書類および添付書類を提出してください。なお、建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理業務の受け付けは、埼玉県電子入札共同システムを利用した共同窓口申請になります。

▶問い合わせ 同課契約担当(内線213・214)

行田市行政改革推進委員会の委員を募集します

本市では、社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な市政の実現を図るため、行田市行政改革推進委員会を設置しています。

この委員会は、市長の諮問に応じて行政改革の推進に関する重要事項について審議する機関です。

このたび、行政改革に市民の皆さんの意見を反映させるため、新たに委員を募集します。

▶応募資格 市内在住・在勤・在学の満20歳以上で、平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる方。ただし、次の方は応募できません。

(1)応募日現在、すでに本市の審議会などの委員となっている方

(2)市職員および市議会議員

▶募集人数 2人

▶任期 就任(3月予定)から2年間

▶報償費 1回の出席につき、報償費および費用弁償を支払います。

▶応募方法 住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記のうえ、「行政改革についての私の考え」をテーマにしたレポート(800字程度)を記入した書類(様式自由)を1月31日(火)(必着)までに持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。

【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市企画政策課

【FAX】553-1355

【Eメール】kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp

▶選考方法 レポートを参考に選考し、結果は全員に通知します。

▶問い合わせ 同課改革推進担当(内線309)

ご参加ください「市政懇談会」

市民の皆さんの声を聴き、市政について意見交換を行う「市政懇談会」に参加してみませんか。

この懇談会は、自治会長をはじめとする各種団体の代表者の皆さんに呼びかけ、さらに公募の皆さんの参加もいただき、市長が直接意見・提言を伺います。

次の地区を対象に懇談会を開催しますので、ぜひご参加ください。

▶開催日時・場所

地区	日時	場所
埼玉	1月12日(木) 午後7時～8時30分	埼玉公民館
星宮	1月21日(土) 午前10時30分～正午	星宮公民館
太井	2月4日(土) 午前10時～11時30分	太井公民館

▶対象 該当地区在住の方

▶その他 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

第5次行田市総合振興計画を販売しています

本市では、平成23年度から平成32年度までの10年間の計画期間において、市の向かうべき方向性を明確に示した「第5次行田市総合振興計画」を古代から未来へ、夢をつなぐまち「ぎょうだ」を策定しました。

この計画は、市政情報コーナー、図書館、各公民館、市ホームページでご覧いただけるほか、有償頒布していますので、ぜひお求めください。

▼頒布場所 総務課、企画政策課

▼価格 1千円

▼その他 概要版は無料で配布しています。

▼問い合わせ 企画政策課企画担当(内線309)



行田市障害者計画(案)について皆さんからの意見を募集します

本市では、今後の障害者施策の基本を定める障害者計画を策定しています。

次のとおり計画(案)を公表しますので、市民の皆さんの意見をお寄せください。

▼募集期間 1月16日(月)～2月3日(金)

▼公表場所 市ホームページ、福祉課、市政情報コーナー、南河原支所

▼応募資格 市内在住・在勤・在学の方または市内に事業所などを有する法人および団体

▼応募方法 住所、氏名(法人や団体の場合は名称と代表者の氏名)、電話番号を明記のうえ、同計画に対する意見を記入した書類(様式自由)を持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。
【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市福祉課【FAX】554-6701【Eメール】tukusi@city.gyoda.lg.jp

▼その他 意見提出に係る個人情報 は、本業務の目的以外には使用しません。また、提出された意見などの原稿の返却および個別の回答は行いません。

▼問い合わせ 同課障害福祉担当(内線2606)

新成人が語る二十歳の抱負

平成24年行田市新成人を
祝う会実行委員会

「諦めない心」

実行委員長 大谷 知史さん



今年度の実行委員長を務めさせていただきます。長野中卒業生の大家知史です。新成人代表としてごあいさつ申し上げます。私自身の20年間は、長いようでとても短い年月でした。これまでを振り返ると、毎日を大切に、また、楽しく過ごせたので、あつという間だったなと思うからです。

今までの生活は、正直、親に甘えて過ごしてきたと感じます。しかし、20歳を迎えた今、私たちは金銭面での「自立」だけではなく、精神面での「自立」も図っていく必要があります。2011年3月11日に、東日本大震災が起こり、多くの人々が震災の影響を受けました。そして今でもなお、避難生活を強いられている人々もいます。この状況下で私たちにできることを自分なりに見つけ、実行することが今の日本が元気になることにつながると 생각합니다。

また、それが自分自身の「自立」につながると私は信じています。これから社会人となり、いろいろな経験をしていく中で、特に精神面で「自立」することが大切になっていくと思います。「諦めない心」これが私のモットーです。何事にもあきらめず、最後までやり遂げることで、自分が成長できると信じています。たとえそれが失敗に終わったとしても、それは必ず精神的な成長につながると思うので、最後までやり遂げることが大切だと思います。良い大人になれるよう、これからも努力を重ねていきたいです。

「夢に向かって」

副実行委員長 小管 碧さん



平成24年の冬、無事に成人の日を迎えることができることを大変うれしく思います。それとともに、20年間私たちを支えてくださったたくさんの方々へ心よりお礼申し上げます。

この20年間を振り返ってみますと、あつという間の20年間でした。それはきつと、自分にとって大変充実した20年間であったからだと思います。つらいこともありましたが、両親や友達、先生の応援があったのでいつも乗り越えることができました。特に「将来の夢」という大きな壁にぶつかってしまったとき、「両親は一番近くで共に真剣に考えてくれました。そのおかげで私は「保育士」という夢を見つげることができ、今はその夢に向かって一生懸命勉強に取り組んでいます。将来の夢の実現のために頑張っている今が、私にとって一番充実している時間です。何か大きな壁にぶつかつたとしても、その壁を避けて乗り越えられたとき、私たちは成長していくことができるのだと思います。成人という人生の節目を向かえ、これからも大きな壁が現れるかもしれませんが、そのとき、20年間の中で得たものを糧に乗り越えていきたいと思えます。

成人を迎えた私たちが今できることは、成人であるという意識をしっかりと持ち、自分が今できることは何かを考え、精一杯努力することだと思います。成人として守らなくてはならないマナーをしっかりと守り、また、将来の夢を実現できるように、目の前の課題に精いっぱい取り組んでいきたいです。

ご存じですか 教育振興奨励金

本市では、市内で教育振興に沿った活動を行っている個人や団体の皆さんを対象にした奨励金を交付しています。

▶申請期間 2月1日(水)～20日(月)

▶対象

- ①学校教育関係(学校教育の充実、向上について調査・研究をする場合)
- ②社会教育・社会体育関係(社会教育、スポーツ活動および青少年の非行化防止活動の充実・向上のための事業)

▶交付限度額

- ①学校教育関係 【個人】5万円 【団体】10万円
- ②社会教育・社会体育関係

【個人】5万円 【団体】20万円

▶申し込み・問い合わせ 教育総務課庶務担当 ☎556-8311

ご活用ください 就学援助費

経済的な理由により就学が困難な、小・中学校児童・生徒の保護者の方に、就学費用の一部を援助しています。お困りの方は、ご相談ください。

▶対象

- ①市民税が非課税の世帯
- ②児童扶養手当(子ども手当とは異なります)を受給している世帯
- ③その他、経済的に就学援助費が必要と認められる世帯など

▶援助内容 学用品費、給食費、修学旅行費、医療費など
※詳細は市ホームページをご覧ください。

▶相談・申請・問い合わせ 教育総務課財務施設担当 ☎556-8311

小・中学校の指定学校変更

市では小・中学校の通学区域について規則で定めていますが、次に該当するときは、保護者の申し立てにより、指定した就学校を変更することができる場合があります。

▶区域外就学（指定学校変更）許可基準

No	願出の種類	該当学年	許可基準	許可期限	添付書類
1	最終学年	小学6年生 中学3年生	最終学年途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合。	卒業まで	—
2	学期途中	小学1～5年生 中学1～2年生	学期途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合。	学期末まで	—
3	住宅新築および 転居予定	全学年	家屋登記、住宅ローンなどの融資手続きのため住民票のみ異動した場合。 自宅の新築およびマンション・アパートの入居などによる転入、転居予定があり通学に支障がない場合。	入居予定日まで	建築確認書 工事請負契約書 売買契約書 賃貸契約書
4	両親共働きなど 留守家庭	小学校全学年	保護者が共働きなどにより留守になる家庭で、祖父母などの家から就学する場合、その通学区域。	事由の存する期間 (年度更新)	勤務証明書 営業証明書
5	身体的および 精神的理由	全学年	身体的理由で、通学途中の安全確保のため、指定通学区域外の学校に就学する場合。 登校拒否が客観的に予想される場合。	事由の存する期間	医師の証明書 学校長の意見書
6	家庭の事情により、住所異動 ができない方	全学年	市内に居住していることが証明された場合、通学区域内の学校へ就学。	住民登録が行われる まで	賃貸契約書 居住証明書(民生児童委員など)
7	特別支援学級 に入級する方	全学年	就学指定校に該当する特別支援学級がない場合。	就学指定校に該当する特別支援学級が設置されるまでの期間	—
8	地域の事情	全学年	教育委員会が、指定校の変更を認めている地域(許容地域)。	卒業するまで	—
9	その他	全学年	上記以外で、特別の事情がある場合。	適切と判断する期間	その都度必要とする書類

▶指定学校を変更することができる場合の手続き

平成24年度に入学する方については、保護者から就学すべき学校の変更願を2月15日(水)までに教育総務課へ提出してください。教育委員会による審査後、変更承諾書を交付します(その他の方については、随時受け付けます)。

▶相談・申請・問い合わせ 同課庶務担当 ☎556-8311

入学準備金を貸し付けます

本市では、高校・大学などへ入学を希望する方の保護者に対して、経済的負担の軽減を図るため、入学準備金の貸し付けを行っています。

▼申請期間 2月1日(水)～20日(月)

▼対象 市内に6カ月以上居住し、市税を完納している方※連帯保証人が必要

▼貸付金額

①大学・短大および専門課程を置く専修学校の場合 30万円

②高校・高専および高等課程を置く専修学校の場合 20万円

▼申請時に添付する書類

在学または出身学校長が大学・高校などの長に提出する調査書の写し、家庭調査書、住民票の写し(世帯全員)、承諾書

▼貸付決定後に提出する書類

借用書(連帯保証人が必要)、入学許可書または合格通知書

▼返還方法

3カ月を据え置き、大学については50カ月以内、高校については35カ月以内で毎月の分割払い。

▼申し込み・問い合わせ

教育総務課
庶務担当 ☎556

8311



行田市民大学 平成24年度新入生を募集します

「市民による手作りの学校」を目指している市民大学。4年目となる平成24年度は、さらに講座に磨きをかけて皆さんの応募をお待ちしています。

基本理念

希望に満ち、活気あふれる、明るいまちづくりには、市民一人ひとりが「志」を持って自ら学ぶことにより、見識を高め、能力を磨いて、自主的に行動することが求められています。

市民大学は多くの市民の方に、生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的とします。

- 「自ら学ぶこと」は、たのしいことです。
- 「共に学ぶ仲間に出会えること」は、うれしいことです。
- 「学んだことを日々の暮らしや地域社会に活かすこと」は、すばらしいことです。

基本目標

1. 生涯学習と自己啓発による生きがいづくり
2. 出会い・交流・仲間づくり
3. 地域社会に役立つまちづくり
4. 市民と大学や地域との連携づくり

募集要項

- ▶ **修学期間** 5月から2年間
- ▶ **時間** 午前(原則木曜日)
- ▶ **場所** ものづくり大学(予定)
- ▶ **応募資格** 市内在住・在勤で、16歳以上の方
- ▶ **募集人数** 50人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶ **学費** 年間15,000円(期日までに振り込み)
※視察ツアーは別途負担あり
- ▶ **応募方法** 市役所、教育委員会、各公民館などに用意してある所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、3月15日(木)までに持参・郵送・FAXのいずれかの方法で申し込みください。
【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会ひとつくり支援課【FAX】556-0770
- ▶ **入学決定** 4月上旬までに応募者へ結果を通知します。
- ▶ **問い合わせ** 同課生涯学習担当 ☎556-8319

平成24年
5月開校!!

行田市民大学

たのしい、うれしい、すばらしい

講座予定

回	内 容
1	入学式、オリエンテーション
2	「のぼうの城」を検証する…成田一族の盛衰
3	忍城主はなぜ徳川幕府に重用されたのか
4	第1回視察 郷土の歴史ロマンツアー
5	郷土の誇り 古墳時代
6	郷土の地形と成り立ち
7	同窓会によるグループ研究発表
8	「もったいない」が凝縮! 省エネ都市・江戸
9	秘密の講座 乞乞期待!
10	行田市の原点 日本一の足袋産業
11	自然の大切さ みんなで学ぼう!
12	第2回視察 行田再発見!?自然観察会
13	ものづくり大学 学園祭でフィーバー!?
14	郷土の風習・文化を学ぶ 神楽と獅子舞
15	元気の出る街づくり
16	歴史考証 - 目からウロコの出典は新約聖書?
17	原発・エネルギー問題
18	グループ研究の中間報告会
19	ヘレンケラーの心を支えた埴保己一と共生の心
20	「宇宙戦艦ヤマト」~冒険物語の元型を訪ねて
21	グループ研究成果発表
22	修了式

※講座の順序や内容は都合により変更する場合があります。
※講座のほかに、グループ研究があります。

臨時教員・非常勤講師を募集します

市では、小・中学校に勤務する臨時教員および非常勤講師を募集しています。

▼ **応募要件** 小学校または中学校の教員免許状をお持ちの方(3月31日までに教員免許状を取得見込みの方も可)

▼ **応募方法** 履歴書(市販のもので可)を学校教育課へ直接持参してください。

▼ **採用** 教育委員会の名簿に登録の上、教員に欠員などが生じた場合は、条件の合う方へ連絡します。その後、面接を行い、採用を決定します。

▼ **問い合わせ** 同課学務担当 ☎556-8316

冬のエコライフ みんなのあったかひとエ夫ひかえめ暖房エコライフ

暖房などによりエネルギーの使用量が増える冬、県では今年も地球温暖化対策キャンペーンを実施します。

地球温暖化対策は一人ひとりが主役です。身の回りのできることから、冬のライフスタイルに取り組みしましょう。

▼ **キャンペーン期間** 3月20日(火)まで
▼ **冬のライフスタイルとは**

- ・カーディガンやベストなどの重ね着をする
- ・体が温まる飲み物を飲む
- ・簡単な運動をする
- ・暖房温度を20度以下に設定する

▼ **問い合わせ** 埼玉県環境部温暖化対策課 ☎048-830-3038

冬の節電5%

東京電力管内における1月～3月の電力供給は、3.6%～6.7%の余力があることが見込まれていますが、昨年冬の最大電力から5%削減を目安に、無理のない範囲で節電のご協力をお願いします。



屋内全般

熱を逃がさず
冷気を入れない



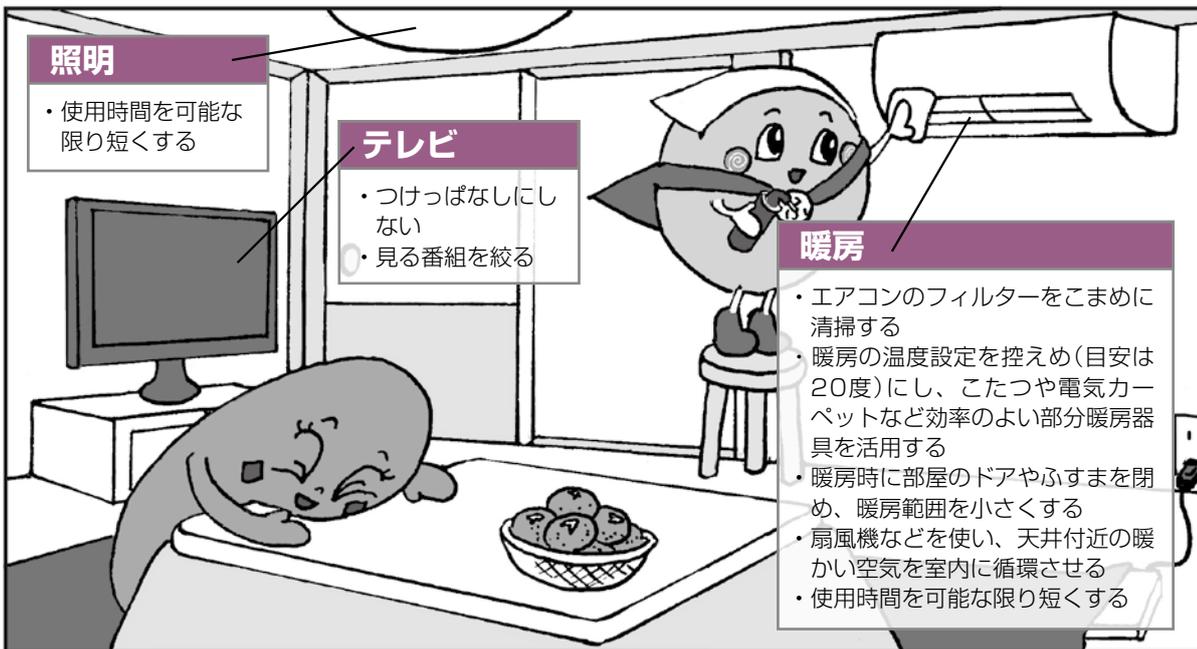
断熱など

- ・窓に空気層のある断熱シートを張る
- ・暖房時にカーテンやブラインドを閉める
- ・すき間テープなどを活用してすき間風を防ぐ
- ・床に断熱シートやカーペットを敷く

重ね着、湯たんぽ、ひざ掛けなどで暖かくしようね



リビング



照明

- ・使用時間を可能な限り短くする

テレビ

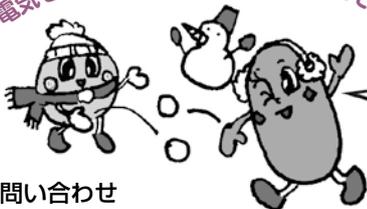
- ・つけっぱなしにしない
- ・見る番組を絞る

暖房

- ・エアコンのフィルターをこまめに清掃する
- ・暖房の温度設定を控えめ(目安は20度)にし、こたつや電気カーペットなど効率のよい部分暖房器具を活用する
- ・暖房時に部屋のドアやふすまを閉め、暖房範囲を小さくする
- ・扇風機などを使い、天井付近の暖かい空気を室内に循環させる
- ・使用時間を可能な限り短くする

水回り

電気を上手に使って暖かい冬を過ごそう



台所

- ・電気ポットや炊飯ジャーの保温をやめる
- ・圧力鍋を活用して調理時間を短くする
- ・食器洗いでお湯を出しっぱなしにしない

お風呂

- ・節水シャワーヘッドを取り付け、使うお湯の量を減らす
- ・家族が続けて入り風呂の追い炊きをしない

トイレ

- ・保温便座の温度設定を下げ、使わないときには保温便座のふたを閉める

問い合わせ

環境課環境政策担当 ☎556-9530

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、まだ使えるものの仲介を行う不用品登録制度を実施しています。品物は無料で、登録期間は3カ月です。なお、規格や大きさが異なる場合があります。

◎さしあげます

- ▽アイロン(手芸用) ▽机(会議用) ▽全自動洗濯機 ▽VCRレコーダー ▽電気炊飯器 ▽ドレッサー(いす付き) ▽セミダブルベッド ▽物干し竿(ステンレス)2本 ▽おまる ▽ベビーカー(A型・AB型) ▽子ども用自転車(17インチ男児用)

◎ゆずってください

- ▽自転車(大人・折りたたみ・電動) ▽テレビ(地デジ・液晶小型) ▽カメラ(デジタル一眼レフ・デジタル) ▽家庭用耕運機 ▽DVDレコーダー ▽家庭用製めん機 ▽ビデオカメラ(デジタル) ▽座いす(小) ▽ステレオアンプ ▽こたつセット ▽自転車用チャイルドシート(後用) ▽ガスストーブ(プロパン) ▽クリアボックス(押し入れ用) ▽子ども用自転車(16インチ女児向け・14インチ補助輪付き) ▽セミダブルベッド ▽DVDプレーヤー ▽石油ファンヒーター ▽電子レンジ ▽電子オルガン ▽万歩計 ▽ダブルベッド ▽ビデオカセットレコーダー ▽ぶらさがり健康器具

▼問い合わせ 環境課環境業務担当

☎556-9530

【FAX】556-0762

保 健 案 内

保健センター
 長野 2-3-17
 TEL : 553-0053
 FAX : 555-2551

子どもの健康

乳幼児健診

名 称 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診
そ の 他 転入されたお父さんで、前住所地で受診していない方は保健センターへご連絡ください。

BCG予防接種

①**受付日時** 1月23日(月)午後1時30分～2時20分
対 象 平成23年10月1日～15日生まれのお子さん
 ②**受付日時** 2月9日(木)午後1時30分～2時20分
対 象 平成23年10月16日～31日生まれのお子さん
 ①②とも対象児以外でまだ受けていないお子さん(6カ月未満)は、この機会に受けてください。

ポリオ予防接種

受付日時 1月30日(月)、2月6日(月)午後1時30分～2時20分
対 象 平成23年4月・5月・6月生まれのお子さん
 ※対象児以外で、まだ受けていないお子さん(7歳6カ月未満)は、この機会に受けてください。なお、ワクチンの準備などがありますので、事前にご連絡ください。

乳幼児相談 (要申し込み)

受付日時 2月7日(火)午前9時30分～11時30分
対 象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室 (初期) (要申し込み)

受付日時 2月7日(火)午前10時15分～10時30分
対 象 平成23年8月15日～9月14日生まれのお父さんがいる方

※いずれも場所は保健センター

おとなの健康

こころの相談 (要申し込み)

日 時 1月18日(水)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします
対 象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいる、飲酒量が多くやめられないなど、こころに悩みのある方
そ の 他 随時、電話での相談もお受けします。

健康相談 (申し込み不要) ※お待ちいただくことがあります

日 時 2月10日(金)午前10時～11時
対 象 健康に関する相談をしたい方

糖尿病健康相談 (要申し込み)

日 時 2月10日(金)午前10時～11時
対 象 糖尿病について心配のある方

禁煙教室 (要申し込み)

日 時 2月10日(金)午前10時～11時
対 象 たばこをやめたい方

※いずれも場所は保健センター



休日急患診療



期 日	医療機関名	期 日	医療機関名
1月15日(日)	行田中央総合病院	2月 5日(日)	行田中央総合病院
1月22日(日)	壮幸会行田総合病院	2月11日(土)	壮幸会行田総合病院
1月29日(日)	行田中央総合病院	2月12日(日)	壮幸会行田総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
- *医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。
- ・行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき
- ・行田市消防署 ☎550-2123
- ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
- ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
- ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります(携帯電話可)。
- ・相談時間 【月～土曜日】午後7時～11時
 【日曜日、祝日】午前9時～午後11時

予防接種はお済みですか

予防票のない方は母子健康手帳持参のうえ、保健センターにお越しください。

予防接種名/接種回数	対象(無料で接種できる年齢)
三種混合/初回3回、追加1回	生後3カ月～7歳6カ月
二種混合/1回	11歳～13歳未満
麻しん風しん混合予防接種【第1期】/1回	1歳～2歳未満
麻しん風しん混合予防接種【第2期】/1回	平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方 ※1
麻しん風しん混合予防接種【第3期】/1回	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方 ※1
麻しん風しん混合予防接種【第4期】/1回	平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの方 ※1
日本脳炎予防接種【第1期】/初回2回、追加1回	3歳～7歳6カ月
日本脳炎予防接種【第2期】/1回	9歳～13歳未満 ※2

※1:麻しん風しん混合予防接種【第2期・3期・4期】の対象者は、3月31日(土)までに接種を受けてください。その期間を過ぎると有料になりますので、ご注意ください。

※2:日本脳炎予防接種は、一時見合わせていたことにより、平成7年6月1日から平成19年4月1日生まれの方のみ、20歳未満まで接種できます。(7歳6カ月～9歳未満でも可能)



保 健 案 内



脳卒中に注意しましょう

脳卒中にはさまざまな種類があり、代表的なものとして、脳の血管が詰まって血液が流れなくなる「脳梗塞」、脳の血管が破れて出血する「脳出血」があります。

脳卒中には前触れがあります。皆さんチェックしてみましょう

- 頭痛、吐き気、目まい
- 耳鳴り
- 突然意識を失う
- 手足のしびれ、脱力、まひ
- しゃべれない（失語、ろれつが回らない）
- 物が二つに見える、物が見えにくい
- 物忘れがひどい

これらの症状が出たときには、早めに専門医の診察を受けることが重要です。

脳卒中にならないために、予防しましょう

急激な温度変化を避けましょう

暖かい場所から急激に寒いところへ移動すると、心臓に負担が掛かり、血圧が急上昇する危険があります。特にトイレでは、温度差や排便時の「力み」で血圧が上昇するため、注意が必要です。

ストレスをためないようにリラックスを

人間はストレスを感じると脈が速くなり、血管が収縮して血圧が上昇します。また、過労や睡眠不足が原因で脳疾患や心疾患を起こす方もいます。日ごろからリラックスすることが重要です。

塩分を控えましょう

塩分を過剰に摂取すると、血圧が高くなります。塩分を控えた食生活を心掛けましょう。

お酒・タバコを控えましょう

お酒の飲み過ぎや喫煙は、動脈硬化や高血圧を誘発します。

適度な運動をしましょう

運動は血糖値や血圧を下げます。日ごろから、軽い運動を心掛けましょう。

健康診断を受けましょう

動脈硬化や高血圧、高脂血症、糖尿病などを早期に発見するだけでなく、健康に関心を持つことも大切です。年に一度は健康診断を受診し、健康管理に努めましょう。

栄養講座

～簡単！食事バランスの取り方～

バランスのよい食事を取ると、健康の保持増進だけでなく、病気の予防にもつながります。そこで、バランスのよい食事とはどのようなものかを学び、生活習慣病の予防や改善に取り組みましょう。

日 時	2月14日(火)午後2時～3時30分
場 所	保健センター
内 容	管理栄養士による食事の話
対 象	市内在住で食事に関心のある方
定 員	30人(先着順)
持 ち 物	筆記用具、健康手帳(お持ちの方)
申し込み	1月16日(月)から直接または電話で保健センター



ひきこもり講演会

日 時	2月18日(土)午後1時50分～4時30分
場 所	市民プラザかぞ301会議室(加須市中央2-4-17)
テ ー マ	「はじめの一步～ひきこもり状態から就労へ～」
講 師	関根宏樹さん(熊谷若者サポートステーション所長)
対 象	おおむね18歳以上でひきこもりの問題を抱える方の家族および関係者
定 員	70人(先着順)
参 加 費	無料
締め切り	2月13日(月)
主 催	加須保健所
申し込み・問い合わせ	加須保健所保健予防推進担当 ☎0480-61-1216

医療費助成制度のお知らせ

子ども医療費、重度心身障害者医療費、ひとり親家庭等医療費では、医療費の振り込みの際に支給決定通知書を送付していましたが、1月支給分より送付しないこととなりました。支給日や支給の内容については、保険年金課医療担当までお問い合わせください。

医療費助成できないもの

- ・日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に該当するもの
- ・保険外(予防接種・定期健診など)およびほかの制度(公費負担医療など)に該当するもの

※加入されている保険組合などで支給される高額療養費・附加給付金があるときは、その額を差し引いたものを支給します。



▼問い合わせ 同課医療担当(内線2206・2207)

平成24年経済センサス — 活動調査にご協力を

2月に実施する経済センサス—活動調査は全産業分野の経済活動を同一時点で幅広く把握するかわが国唯一の調査です。

調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。

調査の趣旨および必要性をご理解いただき、ご回答ください。

▶調査対象 全国すべての事業所および企業

▶調査票配布方法

・支社などが無い事業所には、調査員が直接伺い、調査票を配布します。

・支社などを有する企業には、国、県、市が民間事業者を通して調査票を本社などに郵送します。

▶調査票配布 1月31日(火)までに配布

▶調査票提出 2月1日(水)以降

詳細は総務省統計局キャンペーンサイト (<http://www.stat.go.jp/deta/e-census/campaign/index.html>) をご覧ください。

※なお、平成23年工業統計調査は、この調査の実施に伴い1回休みになります。

▶問い合わせ 企画政策課統計担当(内線310)

里親入門講座を開催します

私たちの周りには、さまざまな事情で家庭を離れて生活しなくてはならない子どもがいます。そうした子供たちを家庭で受け入れてくれる里親を必要としています。

多くの皆さんに「里親制度」を理解していただくため、「里親入門講座」を開催します。養育経験がある里親から話を聞いてみるなど、一緒に学んでみませんか。

▶開催日時・場所・内容

日 時	場 所	内 容
1月29日(日) 午後1時30分～4時 ※受け付け午後1時から	埼玉県熊谷児童相談所 (熊谷市箱田5-12-1)	①里親制度について(熊谷児童相談所職員による説明) ②養育中の里親による体験談 ③意見交換

▶主催 埼玉県熊谷児童相談所・埼玉県里親会熊谷支部

▶申し込み・問い合わせ 同相談所里親・市町村支援担当 ☎521-4152
または子育て支援課保育担当(内線263)

「できたらいいな♪」ができる ～NPO法人設立基礎講習会～

「NPOとボランティアの違いが分からない」という方から「NPO法人を設立したいけどやり方が分からない」という方まで、どなたでも気軽に参加できる講習会を開催します。

▶日 時 2月2日(木)午後1時30分～4時

▶場 所 中央公民館第1学習室(「みらい」内)

▶参加費 無料

▶その他 設立に係る個別相談もあります。

▶申し込み・問い合わせ 1月30日(月)までに電話で利根地域振興センター県民生活担当 ☎555-1110

各種相談 (1月15日～2月15日)

相 談	場 所	日 程	時 間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館2階会議室	1月24日(火) ※次回2月28日(火)の予約は2月1日(水)から	午前9時～午後3時	生活課 (内線252)
行政	産業文化会館2階会議室	1月16日(月)、2月6日(月)	午後1時30分～3時30分	
結婚	VIVAぎょうだ	1月15日(日)、2月3日(金)	午前9時30分～11時30分 (受け付けは午前9時30分～11時)	
消費生活 多重債務	市役所	1月16日(月)・17日(火)・19日(水)・20日(金)・23日(月)・24日(火)・26日(水)・27日(金)・30日(月)・31日(火)、2月2日(水)・3日(木)・6日(日)・7日(月)・9日(水)・10日(木)・13日(日)・14日(月)	午前9時30分～午後3時30分	
相続、遺産、離婚、 日常生活の困り事	市役所	2月8日(水) ※予約制	午後1時～4時50分 (受け付けは午後1時～4時)	埼玉県行政書士会埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど (予約制)	VIVAぎょうだ	1月19日(水)・28日(土)、2月2日(水)・11日(土) ※各土曜日は市内在住の方対象に電話相談も受け付けます	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	1月17日(火)・20日(金)・24日(火)・27日(金)・31日(火)、2月3日(金)・7日(火)・10日(金)・14日(火)	午前10時～午後4時	商工観光課 (内線383)
人権	忍・行田公民館	2月8日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務	中央公民館 (「みらい」内)	1月17日(火)	午後1時30分～3時30分	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	2月5日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	1月17日(火)・24日(火)・31日(火) 2月7日(火)・14日(火)	午後5時15分～7時	

図書館だより

市立図書館 開館時間
 佐間3-24-7 午前9時30分～午後7時
 (「みらい」内)
 TEL 556-4227 休館日
 FAX 555-3770 1月1日(日)～4日(水)・10日(火)・16日(月)・23日(月)
 30日(月)・31日(火)・2月6日(月)・13日(月)
 ※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください

主な新着図書

- ・海薔薇(小手鞠るい)
- ・ホテル・ピーベリー(近藤史恵)
- ・精姫様一条(杉本章子)
- ・ひみつ(福田隆浩)
- ・へんしんかいじゅう(あきやまだし)

おはなし会

- ▶日 時 1月18日(水)、2月15日(水)午前10時30分～11時
- ▶内 容 絵本、パネルシアターなど
- ▶対 象 2、3歳児と保護者
-
- ▶日 時 1月28日(土)午前11時
- ▶内 容 絵本や手遊びなど
- ▶対 象 幼児
- ▶主 催 おはなしタンバリン
-
- ▶日 時 2月4日(土)午後2時
- ▶内 容 絵本など
- ▶対 象 幼児・小学生
- ▶主 催 おはなしの会
-
- ▶日 時 2月11日(土)午後2時
- ▶内 容 絵本や紙芝居など
- ▶対 象 幼児・小学生
- ▶主 催 おはなしポケット

※場所は、いずれも図書館おはなしのへや

読み語りの会

- ▶日 時 2月10日(金)午後2時
- ▶場 所 図書館ミーティングルーム
- ▶内 容 絵本や紙芝居など
- ▶主 催 おしゃべりインコの会

定例子ども映画会

- ▶日 時 1月21日(土)午後2時
- ▶場 所 映像ホール
- ▶題 名 鉄腕アトム(24分)
 ジャングル大帝 誕生(24分)
- ▶定 員 80人(先着順)
- ▶入 場 料 無料

ブックスタート

- 4カ月児健診に合わせ保健センターで絵本を配布します。
- ▶日 時 1月31日(火) 午後1時受付開始
- ▶持 ち 物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

北河原小	北小	桜ヶ丘小	太田西小	荒木小	太田東小	南河原小	星宮小	須加小	埴玉小	泉小
1月17日(火)	1月18日(水)	1月19日(木)	1月20日(金)	1月24日(火)	1月25日(水)	1月26日(木)	1月27日(金)	1月31日(火)	2月1日(水)	2月3日(金)

※変更となる場合もあります

忍藩子ども塾の児童が素読を発表

11月23日、「みらい」文化ホールで開催された詩吟発表会の中で、忍藩子ども塾の児童が素読を発表しました。会場は、児童の元気な声で満たされ、観客から惜しみない拍手が送られました。

同塾では、言語文化に親しみ、豊かな言語感覚や自分の思いや考えをうまく伝える能力、読書への関心を育てるため、毎月3回第1・2・3土曜日の午前中に、郷土博物館で(財)忍郷友会の運営のもと素読教室を実施しています。

▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319



蓮檜編集委員を募集します

年2回発行されている生涯学習情報誌「蓮檜」は、ボランティアの市民の皆さんによって作成されています。

このたび、同情報誌の編集委員を募集します。経験がなくても参加できますので、ぜひ、ご応募ください。

- ▶応募資格 市内在住で、編集会議(1号当たり6～10回程度)に出席できる方。
- ▶募集人数 2人
- ▶申し込み・問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319



Cyoda City Photo Studio 写真館



万が一の災害に備えて、 地域防災力を高めましょう

市内全15地区を4つのブロックに分け、行われた行田市防災訓練。11月26日に埼玉・下忍地区の方が訓練に臨みました。

埼玉中学校体育館で行われた応急手当訓練やAED体験に、参加者は積極的な姿勢で臨んでいました。

その後、校庭に訓練場所を移し、初期消火訓練や仮設トイレ組立訓練など6種類の訓練を行いました。これらの訓練に参加したどの地区も、地域の防災力を強化することができたに違いありません。

楽しく、分かりやすく、行田を学ぶ

11月20日、「みらい」文化ホールで、歴史コメンターの金谷俊一郎さんを迎え、行田市観光おもてなしセミナーが行われました。

石田三成の水攻めにも耐えた忍城の秘密や成田長親の人物像など、行田を訪れる人を「おもてなし」するために、知っておきたい歴史的情報が盛りだくさん。金谷さんの身振り手振りを交えた楽しく分かりやすい解説に、観客誰もが引き込まれている様子でした。



手締めの音で大にぎわい

12月6日、愛宕神社周辺で年末の風物詩、行田西の市が行われました。

「1年の無事に感謝し、来年の幸せを願おう」と家族やカップルなど多くの方が参拝に訪れました。また、縁起物の熊手を売る露店からは、手締めとりの音があちこちから聞こえ、にぎわいを見せた祭りとなりました。

「ツレとうつと自分らしく」をテーマに トークショーを開催

11月19日、「みらい」文化ホールでぎょうだ男女共同参画フォーラム2011が開催され、今年秋に映画公開されたコミックエッセイ「ツレがうつになりまして」の原作者である細川てんてん貂々さんと、ツレさんこと望月昭さんによるトークショーが行われました。

このトークショーでは、映画制作にまつわる話をはじめ、細川さんが夫の「うつ」を漫画にしようと思ったきっかけや望月さん自身の闘病体験、さらには主婦生活の様子など興味深い話を紹介。詰め掛けた大勢の観客は、一つ一つの話題に大きくなぞくなどして関心を示していました。



風を切り裂いて

12月4日、行田市総合公園周辺周回コースで学生自転車競技大会の「第6回東京六大学対抗ロード（クリテリウム）大会」と「全日本学生ロードレースカップ 第7戦浮城のまち行田ラウンド」が行われました。

この大会に、関東、関西を中心とした20大学から113人が出場。1周2キロメートルの周回コースに挑んだ選手らは、師走の冷たい風にも負けず、猛スピードで走り抜けていました。



かるたを通して郷土を学ぶ

11月19日、「グリーンアリーナ」サブアリーナで第6回彩の国21世紀郷土かるた行田大会が開催され、市内の小学3年生から6年生までの、46人が参加しました。

大会に備え、埼玉県史の歴史や名所などを勉強してきた子供たち。競技が始まると、読み札を聞き漏らさないよう耳を澄まし、間髪入れずにかるたを取っていました。かるたを通して郷土を学ぶことは、子供たちにとってかけがえのない財産になるでしょう。



たすきをつなぎ元気に疾走

11月27日、行田市総合公園およびその周辺を会場に、第55回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が行われました。

3,090メートルと1,150メートルのコースに分かれ、1チーム5人のメンバーでたすきをつなぐこの大会に、市内外から88チームが参加。チームメートの汗がしみ込んだたすきを受け取った走者は、両脇で見守る観客の声援を受け、少しでも順位を上げようと元気いっぱい駆け出していました。



丹精込めて作った農産物が大人気

12月3日、JAほくさい行田中央支店で、第29回農協まつりが行われました。

当日は、あいにくの雨でしたが、野菜や花卉、ゼリーフライの販売など21団体が出店し、たくさんの来場者が訪れました。

農産物品評会に出品した野菜などを即売するコーナーでは、農家の方が丹精込めて作った農産物を買えるとあって、販売前から行列ができるほどの人気で、会場は大いににぎわいました。



いきいき 行田人

「税についての作文」で

国税庁長官賞を受賞

岩崎 里衣さん（15歳・谷郷）

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が、全国の中学生を対象に募集を行った「税についての作文」。今月は、全国56万1千537編の応募作品の中から、栄えある賞である国税庁長官賞を受賞した岩崎里衣さんを紹介します。

岩崎さんが「税についての作文」に応募したのは今回で2回目。前は、行田市の中学生海外派遣研修に参加した体験をテーマに作文を書き、埼玉県納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞しました。今回は、夏休みの社会科の課題で税の作文を書くことになったのですが、夏休みの最終日までテーマが思い浮かばず、悪戦苦闘していたそうです。そんな中、ふと岩崎さんの頭をよぎったのは、4歳年上の姉が生まれた時に、命を救ってくれた埼玉県立小児医療センターのことでした。以前から、同センターが税金で運営されていることを知っていたこともあって、岩崎さんは「埼



玉県立小児医療センターによって、姉が命を救われたことをテーマに作文を書こう」と決めました。

作文を書き始める前に、何度も何度も当時のことを家族に聞いた岩崎さん。「幼いころから、耳にたこができるくらい姉の話聞いていましたが、具体的に聞いたのは初めて。壮絶な状況に驚きました」と振り返ります。そして、家族への取材を基に出来上がった作文、「守れ、小児医療センター」が国税庁長官賞を受賞したのです。母が早期胎盤剥離で、母子共に危険な状態であったこと、超未熟児で生まれた姉の命を救うため、設備が整った同センターへ移るまでの間に、何度も姉の命が窮地に立たされたこと、姉が未熟児専用のドクターカーで搬送され、その後入院を繰り返しながらも、現在は元氣な姿でいることなど、リアリティー溢れるように書くことを心掛けた岩崎さん。「救えるはずの命があるのなら、そのために税金を使うことは生きた税金の使い方の一つ」と正直に税への思いもつづりました。

「作文を書いたことで、税金は私たちの生活に欠かすことのできないものだと感じました」と税について、さらに理解を深めることができた岩崎さんは、現在受験生。元氣に大学の薬学部に通う姉のように「将来は、医療関係の仕事に携わりたい」と夢を語り、一歩ずつ未来への階段を上り始めているように見えました。

私の作品

俳句

忍 岡田 修

好晴の秋惜しむかに土手の山羊

長野 内山 計江

落葉して実の細りたる狭庭かな

佐間 藤田 久仁

天高しはあと呼ばれてうれしかり

須加 須加かつ江

神の留守 狛犬達も大欠伸

須加 蓮 陽子

銀杏の黄あざやかなりし日に映えて

壱里山町 斉藤 閑風

ふんぎりのつかぬ引き時蜂の冬

長野 篠崎 礼子

猫を連れ落ち葉踏みしめ歩く道

佐間 矢澤喜美江

榛名山友と旅する紅葉路

城南 町田ツギ子

立冬もすぎし小雨やもの悲し

矢場 鈴木かつの

部屋の名のどれも山の名秋の宿

裏表街路を染める落葉舞う

城西 山下 利江

冬寒や葉袋の一つふえ

佐間 須永 節子

池の端歩けば鴨も寄り来たる

天満 青柳 欣吾

なにはさて病みし夫へと栗御飯

城南 橋本千枝子

小春日や赤子の寝息腕の中

清水町 柳沢 紀子

(木島 斗川 監修)



『朝の光』(パッチワーク)
米川 晴子(長野)

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日まではがき・封書で広報広聴課へ応募ください。



小林 蕾叶ちゃん (長野)
父・誠弥さん 母・小百合さん
平成23年1月14日生まれ
「元気に育ってね。」



番場 結愛ちゃん (持田)
父・幸次さん 母・由季子さん
平成23年1月21日生まれ
「笑顔いっぱい元気な子に♡」



田中 秀典ちゃん (持田)
父・修さん 母・諭子さん
平成23年1月9日生まれ
「元気にいっぱい明るい子に」

はじ め ま し て



新島 千尋ちゃん (須加)
父・弘康さん 母・悠子さん
平成23年1月14日生まれ
「♡食いしん坊の千尋です♡」



柏崎 舞花ちゃん (持田)
父・暢さん 母・香織さん
平成23年1月15日生まれ
「一緒にたくさん笑おう♡」

平成23年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(水)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、2月6日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

太井太極拳クラブ

～心と体と呼吸を一つに～

同クラブの練習は、精神と体の調子を整えるために、太極拳で基本となる「立禅」や、両手を大きく振って全身をリラックスさせる準備体操からスタートします。ホールには、中国の音楽に合わせて、講師の河端慶雄さんの落ち着いた掛け声が響き渡っていました。「一つひとつの型を丁寧に指導してくれるので、安心して動作に集中できます」と語るメンバーの皆さん。現在は、春と秋にほかの太極拳クラブと合同で行われる演舞研修会を目標にして、一生懸命練習に取り組

健やかに過ごそうと楊名時太極拳に取り組んでいます。太井公民館の講座がきっかけとなり、平成20年から活動を始めた同クラブは、男女合わせて20人のメンバーが毎週木曜日の午前10時から11時30分まで、のびのびと体を動かします。



長い歴史を持つ中国の武術として生まれ、現在ではそのゆとりとした動きから、誰でも気軽に行える健康体操として日本全国に普及している太極拳。中でも全国各地に愛好家がいる



「自分のペースで、リラックスして長く続けることが大事です」と満面の笑みを浮かべるメンバーの皆さん。おそろいのユニホームを着て、これからも仲間とともに息を合わせながら、幸せな日々を過ごしていくことでしょう。

腹式呼吸に合わせ、手の指先から足のつま先まで、全身に神経を集中させて行う緩やかな動きが、血行や新陳代謝の促進、内蔵機能や柔軟性の向上のほか、リラックス効果をもたらすなど、心身ともに若返ることができるのが太極拳のいいところです。「太極拳を始めたら、バランス感覚も良くなりました」と余裕の表情で片足立ちをするメンバーの皆さんは、その健康増進効果を実感しているようです。

▼問い合わせ 川鍋 ☎554-1560

募 集

鉄剣マラソン大会の
ボランティア

行田市鉄剣マラソン大会実行委員会では、大会運営を手伝っていただけるボランティアを募集します。

▼活動日時 4月1日(日)午前6時30分～正午ごろ ▼活動場所 古代蓮の里 ▼内容 参加者受け付けや選手誘導など簡単にできるもの ▼対象 15歳以上の方 ▼その他 3月下旬に事前説明会を実施 ▼申し込み・問い合わせ 3月22日(金)までに同大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内) ☎556-8336

臨時職員

▼勤務場所 観光案内所(JR行田駅前) ▼勤務時間 午前9時～午後4時(土・日曜日、祝日勤務あり) ※4月1日(日)より月15日程度のローテーション勤務 ▼勤務内容 観光案内や電話対応など ▼募集人数 1人(申し込み多数の場合は選考)

▼時給 830円 ▼申し込み 市販の履歴書(写真貼付)に必要事項を記入のうえ、2月17日(金)までに商工観光課へ持参。 ▼問い合わせ 同課(内線382)

イベント

第14回

公募行田市美術展

▼日時 2月9日(木)～12日(日)午前9時～午後5時(12日は午後4時まで) ▼場所 「グリーンアリーナ」サブアリーナ ▼内容 絵画(彫刻を含む)・工芸・書・写真 ▼主催 行田市美術家協会、行田市教育委員会、(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 ▼問い合わせ 行田市美術展実行委員会事務局(産業文化会館内) ☎556-6371

埼玉県市町村職員

採用情報フォーラム

2012

埼玉県内市町村職員の魅力をPRするフォーラムを開催します。公務員を目指している方、市町村職員に関心のある方など多くの方の参加をお待ちしています。

▼日時 2月6日(月)午後1時～3時40分 ▼場所 埼玉会館大ホール(さいたま市浦和区高砂3-1-4) ▼内容 講演、市町村職員(事務系)による経験談やメッセージなど ▼定員 1千人(先着順) ▼参加無料 ▼申し込み 1月10日(火)からインターネットによる申し込み※詳細はホームページ「SAITAMA WORKS NAVI」(<http://www.hitozukuri.or.jp/navi/event/s-forum>)をご覧ください。 ▼問い合わせ 彩の国さいたまづくり広域連合自治人材開発センター人材開発部市町村職員担当 ☎048-664-6681

第27回 行田市合唱祭

▼日時 1月29日(日)午後0時30分開演 ▼場所 産業文化会館ホール ▼内容 参加19団体の演奏と全体合唱「風にのせて」 ▼入場無料 ▼主催 行田市合唱連盟 ▼後援 行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会 ▼問い合わせ 長谷見宅 ☎557-2647または中野宅 ☎556-5409

人権コンサート

▼日時 1月28日(土)午後1時30分～3時 ▼場所 佐間公民館 ▼内容 ①全盲のミュージシャン木下航志さんによるピアノ弾き語りコンサート ②障害に屈しない木下さんの姿を映像で紹介 ▼入場無料 ▼共催 佐間地区人権教育推進協議会、佐間公民館 ▼問い合わせ 同館 ☎553-1478

佐間写真クラブ

新春作品発表会

▼日時 1月19日(木)～22日(日)午前9時～午後4時(19日は午前10時から) ▼場所 佐間公民館 ▼入場無料 ▼問い合わせ 佐間写真クラブ代表高澤宅 ☎555-1335



広告

忠次郎寄席

▼日時 2月19日(日)午後2時開演
▼場所 忠次郎蔵 ▼出演 春風亭柳太さん(行田市出身)
▼入場料 1千円 ▼定員 40人(先着順) ▼前売り開始・チケット取り扱い 1月10日(火)から忠次郎蔵で発売 ▼その他 寄席の最後に春風亭柳太さんへの質問コーナーあり ▼問い合わせ 忠次郎蔵 ☎55619988

講習会・教室など

▼日時 1月21日(土)午後1時〜4時30分 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 【第一部】野澤和弘さんによる「弱者の方々への心のバリアフリーー安全・安心の街づくりー」【第二部】上野博さんによる「障害者の就労を考えるー日本と海外の実態からー」 ▼入場無料 ▼共催 第8回バリアフリーーウォッチング実行委員会、行田市障がい者小規模施設連絡会

バリアフリーー講演会
障がいがある人もない人も共に暮らしやすい街に

▼問い合わせ 同実行委員会事務局(行田のぞみ園内) ☎55313102【FAX】55313178【Eメール】gyodanozomi@carrot.ocn.ne.jp

行田法人会行田支部
新春講演会

▼日時 1月27日(金)午後3時開演
▼場所 ベルヴィアイトピア ▼内容 黒田福美さん(女優)を講師として迎え、異文化交流をテーマに韓国の魅力について話します。 ▼定員

100人(先着順) ▼入場無料
▼申し込み 所定の申し込み用紙(行田法人会事務局ホームページ) <http://www.gocn.ne.jp/gyohjin/>よりダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、FAXで同会事務局【FAX】55416969 ▼問い合わせ 同会事務局 ☎55414535

少林寺拳法教室

▼日時 2月18日〜3月17日の毎週土曜日(全5回) 午後7時

8時15分 ▼場所 「グリーンアリーナ」柔道場 ▼対象 小学生以上の方 ▼参加費 中学生以下1千円、高校生以上2千円(保険料、資料代含む)
▼主催 行田市少林寺拳法連盟
▼持ち物 タオル、運動しやすしい服 ▼申し込み 2月4日(土)・11日(土)の午後6時〜7時に費用を持参のうえ、グリーンアリーナロビー ▼問い合わせ 同連盟島田政雄 ☎58814694または ☎0901466510901

県立羽生高等学校
平成24年度特別講座受講生

講座名	期日	対象	定員
Excel入門	5月上旬〜9月下旬 原則毎週火曜日	ローマ字入力ができる方	25人
インターネット・マルチメディア入門	10月上旬〜平成25年1月下旬 原則毎週火曜日	パソコン初心者でローマ字入力ができる方	16人

※各講座とも、祝日および夏季・冬季休業中は休講

▶時間 各講座とも午後3時〜4時30分

▶内容 【Excel入門】基礎的な表計算、関数の使い方、グラフ作成などを学ぶ
【インターネット・マルチメディア入門】パソコンの基本操作、文字入力の基礎、Webページの閲覧、電子メールの送受信などを学ぶ

▶受講料 各講座1,750円

▶応募方法 県立羽生高等学校学校事務室(羽生市加羽ヶ崎303-1)で3月1日(木)から配布する「特別講座受講案内」を参照のうえ、所定の応募はがきに必要事項を記入し、3月16日(金)(当日消印有効)までに同校へ郵送してください。

▶問い合わせ 同校 ☎561-0718



広告

ひな人形作り
紙粘土教室

▼日時 2月4日(土)午後1時30分〜3時
▼場所 児童センター遊戯室
▼対象 幼児以上の方
▼定員 25人(先着順)
▼参加費 500円 ▼持ち物 作品を持ち帰る箱
▼申し込み・問い合わせ 同センター ☎554-15706

読み聞かせボランティア
スキルアップ講座

▼日時 2月4日(土)午後2時〜4時
▼場所 VIVAぎょうだ学習室
▼講師 藤田浩子さん(幼児教育者)
▼定員 60人(先着順)
▼参加無料 ▼主催 財団郷友会読書推進実行委員会
▼後援 行田市教育委員会 ▼その他 読み聞かせ経験がない方でも参加可
▼申し込み・問い合わせ 同会事務局遠藤 ☎556-9000(火・金曜日のみ) または宮脇書店行田店 ☎554-6300

天然ガスから作る電気の
省エネ・経済性についての
学習会

▼日時 1月29日(日)午後1時30分〜3時30分
▼場所 中央公民館第2学習室(「みらい」内)
▼テーマ 太陽エネルギーおよび天然ガスから作る電気の省エネ・経済性について
▼講師 東京ガス派遣講師
▼対象 市内在住・在学・在勤の方
▼定員 50人(先着順) ※要申し込み
▼参加無料 ▼主催 行田環境市民フォーラム
▼申し込み・問い合わせ 中村宅 ☎090-11778-4062

分〜3時30分
▼場所 中央公民館第2学習室(「みらい」内)
▼テーマ 太陽エネルギーおよび天然ガスから作る電気の省エネ・経済性について
▼講師 東京ガス派遣講師
▼対象 市内在住・在学・在勤の方
▼定員 50人(先着順) ※要申し込み
▼参加無料 ▼主催 行田環境市民フォーラム
▼申し込み・問い合わせ 中村宅 ☎090-11778-4062

その他

第5回行田市
ソフトバレーボール
レクリエーション大会

▼日時 3月11日(日)午前9時受付け付け
▼場所 グリーンアリーナ
▼参加資格 18歳以上の方(学生は除く)
▼チーム編成 混合の部および女子の部とし、1チーム5人以上
▼参加費 1人200円(保険代など)
▼主催 行田市ソフトバレーボール連盟
▼申し込み・問い合わせ 2月19日(日)までに同連盟会長成田宅 ☎557-1844 または ☎090-12763-1662

(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
申し込み・問い合わせ

 産業文化会館 TEL556-6371 FAX556-6372	 商工センター TEL553-0510 FAX553-2021	 古代蓮会館 TEL559-0770 FAX559-0784	 グリーンアリーナ TEL553-3377 FAX553-0487
---	---	--	---

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>



体脂肪量・筋肉量を
無料測定

グリーンアリーナ内のトレーニング室では、精密機械を無料で測定できるキャンペーンを実施しています。測定後には、その結果を基に専門知識を持ったトレーナーが簡単なアドバイスをいたします。

▼キャンペーン期間 1月



三遊亭円楽独演会

4日(水)〜2月29日(水)
▼時間 午後2時〜4時 ※毎月第2・4月曜日は休館(祝日の場合は翌日休館)
▼対象 高校生以上の方

▼日時 3月24日(土)午後5時開演
▼場所 産業文化会館ホール
▼出演 三遊亭円楽、三増れ紋
▼入場料 全席指定3千500円
▼前売り開始・チケット取り扱い 1月21日(土)午前9時から同館ほか各プレイガイドにて発売(電話受け付けは翌日午前10時から)



広告

巡回聴覚障害者相談

▼日時 1月18日(水)午前10時～

正午 ▼場所 行田市役所

203会議室 ▼内容 聴覚障

害者情報センターに来所できな

い方のために、巡回聴覚障害者

相談を行います(予約不要)。

▼その他 当日の午後は訪問相

談を行いますので、希望する方

は事前に同センターへ連絡して

ください。▼問い合わせ 同

センター ☎048-814-

3353 【FAX】048-

814-3355

遺言・相続無料相談会

「いま、あなたに

できること」

▼日時 2月12日(日)午前10時～

午後4時 ▼場所 熊谷総合相

談センター(熊谷市宮町2-

132林ビル4階) ▼相談方法

【電話相談】 ☎048-872

-8055(開催当日のみ)【面

接相談】2月10日(金)午後5時ま

でに埼玉司法書士会へ予約 ▼

その他 面接相談は1組30分

▼主催 同書士会 ▼問い合わせ

せ 同会事務局 ☎048-

863-7861

第50回絵画展

▼日時 1月11日(水)～30日

(月)午前9時～午後4時30分

(入場は午後4時まで) ※火

曜日休館 ▼場所 産業文

化会館アートギャラリー

▼内容 行田美術会会員の

作品展 ▼入場無料



パブリックホール展示会

みんなの展示広場

▼日時 1月20日(金)～26日

(水)午前9時～午後5時 ▼

場所 商工センターパブ

リックホール ▼内容 書

やフラワーアレンジメント

などすてきな手作り作品の

展示 ▼入場無料



マスターと作る

おしゃれなハンギング

▼日時 1月29日(日)午後1

時～3時 ▼場所 古代蓮

会館研修工作室 ▼内容

鉢植えを置くスペースが無

い場所でも、壁を利用し空間

装飾として楽しめる、寄せ植

えとはひと味違ったハンギ

ングバスケットの基本を学

びます。▼講師 染谷孝子

さん(日本ハンギングバス

ケット協会認定ハンギング

マスター)ほか ▼対象 小

学校高学年以上の方 ▼定

員 30人(先着順) ▼参加費

3千500円(保険料・材料

代) ▼申し込み 1月14日(土)

午後2時から25日(水)まで同

館窓口にて受け付け。



川島成道

ハートフルコンサート

愛の喜び

▼日時 2月25日(土)午後2

時開演 ▼場所 産業文化

会館ホール ▼出演 川島

成道(ヴァイオリン)、東京

ニューシティー室内合奏団

(管弦楽) ▼入場料 全席指

定3千円 ▼その他 入場

は4歳以上の方 ▼チケッ

ト取り扱い 同館ほか各ブ

レイガイドにて発売中



グリーンアリーナ アルバイト・パートスタッフ

職 種	勤 務 時 間	募集人数・対象	時 給	申し込み・問い合わせ
グリーンアリーナ 窓口受付・施設管理 スタッフ	【月～金曜日】 午後5時30分～9時30分 【土・日曜日、祝日】 午前8時30分～午後9時30分 のうち4～8時間程度 ※週3日程度のローテーション 勤務	若干名 ※18歳以上59歳以下 の方 ※試用期間(2カ月間) あり	800円 ※試用期間は 760円	履歴書(写真貼付)を持参のうえ、 1月22日(日)までにグリーンア リーナ窓口。 ※選考方法は面接試験 グリーンアリーナ(和田1242) ☎553-3377

広告

ぎょうだ
歴史系譜 ②14
行田の歴史再発見 17

忍町の誕生と発展

明治6年（1873）2月に忍城は廃城となりましたが、藩の元家臣たちは従来どおり城の周辺に住んでいました。江戸時代に町人たちが住んでいたところは、行田町と呼ばれていましたが、忍城とその周辺の武家の名称をどうするかが問題となってきました。そこで、忍城を築城した成田氏にちなんで、成田町と称することになりました。明治7年（1874）、忍城内の諏訪曲輪に東照宮が移転され、翌8年（1875）には県内二番目の公園である成田公園（のちに忍公園と改称）が開設されました。

また、交通の面でも大きな開発がありました。行田町や成田町の人々が熊谷町へ向うためには、忍城内の屈折した狭い通路を通るが、大きく迂回するしかなく、城郭の堀や沼が交通の障害となっていました。そこで、明治20年（1887）に忍城内の中心部を東西に一直線に抜ける新道の開設願が、成田町の人々から県に提出されました。これが、現在の国道125号です。

明治22年（1889）、町村合併により成田町、



本町通り（昭和初期）

行田町、佐間村が合併して忍町が誕生しました。人口は同23年（1890）の時点で7千780人、主要産業は足袋180万足、青緞15万反となっていて、このうち町の発展を担ったのは足袋産業でした。明治29年（1896）には、忍町や周辺の資産家たちが中心となって忍商業銀行が設立され、資金面から足袋産業を支えました。社会資本の整備も進み、明治33年（1900）には忍馬車鉄道が開業しました。明治43年（1910）には、行田電灯株式会社が始業を開始し、町内に電気が供給され、翌44年（1911）には電話が開通しました。

大正時代になると、人口の増加とともに市街地が町の外へ拡張されました。忍城の沼や堀の埋め立ても進み、特に内行田と二の丸の間にあった広大な忍沼が埋め立てられ、忍町尋常高等小学校が建設されました。農村部と旧城郭へ市街地が広がることにより、忍町は拡張を続けたのです。そして、昭和12年（1937）には持田村、長野村、星河村と合併し、戸数4千900余り、人口2万5千人余りとなり、県北有数の町として大きく発展していきました。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

こぜにちゃんが
 with フラベネ **行く!**

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



わらべ どう にん ぎょう
童の銅人形

市役所前から栄橋までの国道125号沿いに並んでいる個性豊かな童の銅人形。行田の街並みになくてはならないものとして市民に親しまれています。

平成10年に行われた国道125号の工事に併せて設置された銅人形は、銅板造形作家の赤川政由さんが制作したもので、羽子板や竹馬といった昔ながらの遊びをしている童など、39基の童たちが思い思いのポーズをとって道行く人たちの心を和ませているよ。散歩をしながら、お気に入りの人形を見つかるのもいいかもしれませんね。

今月の表紙

12月10日、総合福祉会館「やすらぎの里」の中庭で、三世代交流もちつき大会が行われました。もちつきを通して祖父母、父母、そして子どもの三世代の交流を密にするだけでなく、参加した家族同士の交流も図ることを目的とした催しに、45人が参加。この日は子供たちにも、もちつきを楽しんでもらおうと、子ども用のきねと臼も用意されました。もちつきに挑戦した子供たちは、楽しそうに「べったん、べったん」と小気味よい音を響かせていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています